

令和4年度 杉並区立高井戸東小学校 学校経営方針

校長 坂本 智子

杉並区の目指す教育

みんなのしあわせを創る杉並の教育

- 学び合い、信頼をつくり、共に生きる
- ちがいを認め合い、自分らしく生きる
- 誰もが社会の創り手として生きる
- 【一人ひとりが教育の当事者として心がける視点】
 - 1 子どもの思いを尊重する
 - 2 ちがいを受け入れる
 - 3 対話を大切にする
 - 4 学びの成果を贈り合う
 - 5 社会を創る当事者として考える

高井戸東小学校の教育目標

夢をもち 豊かに生きる子

かかわる あらわす やりぬく

本校の課題

- 学習指導…学習・学力の保障 基礎学力の定着
自ら課題を見付け、学び、考え、判断し、粘り強く課題解決に向かう力の向上 かかわりを学びに生かし合う力の育成 ICT機器の有効活用
- 生活指導…学校経営方針に基づいた学年・学級運営。安心・安全、挨拶、規範意識に対する意識の向上と定着 いじめ・不登校、不安定対応の取組
- 特別活動…自ら自分たちの生活を創る意識の醸成 奉仕活動の推進 自主・自立の精神 合意形成の醸成
- 特別支援教育…個別指導計画に基づく組織的・計画的な指導、支援の強化と保護者への寄り添い 多様性理解教育の推進
- 若手教員育成…授業力、児童理解力、安定した学級経営力の育成

各関係機関との連携

- よりよい方法の連携についての工夫の継続
- PTAとの連携
 - 学校運営協議会との連携
 - 学校支援本部「三輪舎」との連携
 - 高井戸中学校との小中一貫教育の推進
 - 近隣幼稚園・保育園との幼保小連携
 - 都立杉並総合高校との連携
 - 高井戸図書館との連携
 - 児童館・学童クラブとの連携
 - ゆうゆう館、大学との連携
 - 済美教育センターとの連携
(若手教員育成研修、各種研修、教育相談など)
 - 児童相談センター、子ども家庭支援センターSSW等との連携

めざす学校

◎児童が、互いに尊重しながら夢に向かって自分らしく学ぶ学校

◎保護者・地域が、児童を中心に考え、みんなを尊重しながら支える学校

◎教職員が児童のために喜んで柔軟に工夫や努力をする学校

めざす児童像

- 様々な人とのかかわりを通して、互いを尊重する子
- 自分の思いや考えをもって表現する子
- 意欲的に学び、課題解決に向けてやりぬく子
- いのちの尊さを理解し、心身の健康に努める子

思い・願い

- 共に生き、共に生かし合えることを大切にする学校でありたい。
- かかわりやつながりを大切にし、かかわりやつながりを築く力を養いたい。
- 自分の思いを見つめながら、友達の思いを知ろうとする気持ちを育みたい。
- 自ら課題を見付け、学び、考え、判断して行動し、夢を追求したり、実現したりする力を養いたい。
- 自他の命を守ることの大切さを理解し、自律できる心を育てたい。

めざす教師像

- 児童がすすんで学び、学びを楽しむための授業を目指して意欲的に研究・研修に励み、常に工夫しながら実践を重ねる教師
- 常に自己の人権感覚を磨き、児童一人一人のよさや課題を的確に理解し個性を伸長する教師、協同的に対応する教師
- 保護者・地域の願いを真摯に受け止め、協働を通して信頼関係を築く教師、多面的に捉え対応策を考えられる教師
- 教育公務員としての使命と自覚をもち、法令遵守・サービスの厳正を保持し、責任ある言動がとれる教師

1 教育経営	2 財務経営・外部経営	3 人事経営	4 組織経営	
<p>【学力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資質・能力を育み、児童が主体的な学習に取り組む授業づくりの推進と、基礎学力の定着と保障。 ○「東っこタイム」(朝30分間の帯時間)を授業として活用した言語事項の習熟。 ○一人1台端末を学習ツールとして活用し個別最適化された学びの構築と教員の授業力の向上。プログラミング学習の推進。 ○学校司書・高井戸図書館との連携、図書館やICT機器を活用した授業の充実。 ○「学びの構造転換」を校内研究とし、学びの個別化、探究化、協同化の融合実践。 ○新しい生活様式に適した学習発表会実施。 ○中・高学年が家庭学習の予定を1週間ごとに計画する「マイプラントタイム」の充実。 ○低学年の補習教室「学びたいム」の充実。 <p>【体力向上・健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力向上推進プランに基づき、運動意欲と体力の向上。 ○保護者・地域との連携を図りながらの食育健康教育、健康な体作りへの意欲の向上。 ○アレルギー対応における栄養士、養護教諭との連携と細心の注意の励行。 ○感染症対策「ガイドライン」の適宜の改訂 ○休み時間の教員のプレイリーダーの取り組み推進と放課後ロング遊びの推進。 <p>【心の教育の推進】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「道徳」の実践として、「考える道徳、議論する道徳」の授業の推進。 ○WEBQU、いじめアンケート等を活用した児童の課題の未然防止、早期把握、改善の推進 ○地域見守りコーディネーター・ボランティアの新設による保護者・地域の教育力連携 ○教育相談コーディネーターパイロット校として教育相談部新設。個人面談の回数増。 ○伝統文化体験活動の継続。 ○いのちの教育月間を中心にした生命尊重や人権尊重の精神の醸成、いじめ防止の徹底 <p>【特別支援教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教室の円滑な推進。校内委員会の定例化。適切・迅速な組織的対応力の強化 ○配慮を要する児童への個別指導計画を基にした組織的な指導の推進。繋ぐ認識の向上 ○副籍交流を通じた保護者・児童への特別支援教育についての啓発。 <p>【生活指導・防災教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「高東小の一日」を活用して落ち着いて学習に取り組む共通認識の徹底。 ○感染症予防対策委員会を中心にした、安心・安全な学校生活のルール徹底。 ○防災に向けての定期的な避難訓練や校内外での事故の防止についての意識の向上。 ○保健室を活用した不登校傾向児童等への組織的対応。SC、SSW、家庭や外部機関との情報共有と連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通じたコスト削減(光熱費・水道代消費品の節約等)と予算の計画的な執行。 ○経費節減の一環として、職員会議等での文書のペーパーレス化と校務パソコンの活用 ○義務教育保護者負担経費軽減予算の計画的且つ適正な執行。 ○施設・設備の整備・補修・管理、改善計画。(定期的な安全点検、迅速な対応) ○内外に開かれた風通しのよい学校づくり。・感染症対策を講じた学校公開、学校行事・学校だより、ホームページの充実。 ○学校運営協議会の教育活動改善への積極的な活用。 ○PTA、学校支援本部、地域との協働。・PTAのICT化の改善。・外部人材の授業への積極的な活用。・土曜日学校などへの安全な実施への協力 ○小中一貫教育の取組として、感染予防時におけるの持続可能な取組の検討。高井戸中との小中一貫教育の推進。 ○幼保小連携の取組として感染予防時においても持続可能な取組の継続。 ○児童の健全育成のための児童相談所、家庭支援センター、民生委員、主任児童委員、SSW等との連携強化。 ○杉並総合高校との感染予防時におけるの持続可能な取組の検討。 ○一人1台端末の適切な活用と管理。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職務実績に基づく人事考課。自己申告書作成、授業観察、面接を通して各自の分掌における目標設定と確実な実施 ○サービスの厳正の徹底。サービス事故防止月間を中心とする研修の実施 職員会議、職員夕会での注意喚起。 ○学校経営方針を基にした安定した学年・学級集団作りのための研修の充実。 ○多様性包括理解、児童理解、特別支援教育理解、効果的な支援のための研修会の充実 ○WEBQU、hyper-QUを活用した学級経営力を高める研修の実施。年2回のアセスメント ○困っている保護者、児童への対応力の強化 ○若手教員育成研修の充実。 ○感染拡大に備えたICT活用研修の継続推進。 ○都費教員、区費教員の昇任選考者受験者の育成(管理職、主幹教諭、主任教諭) ○管理職候補者の育成(区のスクールマネジメントセミナーへの参加促進) ○教職員の健康管理、メンタルヘルス配慮。 ○働き方改革の推進に向けた仕事の効率化推進と会議の効率化。 ○働き方改革の推進に向けた新時程の継続 ○SC2名体制、SSS等と人材の計画的な有効活用。 ○危機管理意識の啓発と対応力の育成。 ○異動に揺るがないための分掌組織の副主任、専科主任の担当ブロック制新設。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3名の主幹教諭との主幹会議、企画・運営委員会を縦ラインに位置付ける。 ○定例3委員会と3部会の改変。3委員会の新設に伴い、学年主任会の役割変更。 ○教務部を廃止し、教務事務関連を全員の分担制に変更。 ○各分掌に統括担当主幹を配置。主幹を通ず組織的・計画的な企画立案の徹底。 ○職員会議の隔月化変更のための計画的な下部会議の日程確保による会議の効率化 ○報告、連絡、相談、記録の徹底、情報共有化と結果報告の徹底。 ○経年情報共有のための仕組作り(生活指導夕会記録、引き継ぎノート等) ○校内OJTの計画的な実施による組織力の向上。 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の実技研修、実践事例紹介、各分掌の実務研修、学力向上研修、人権研修、教育相談研修等の計画的な実施 ・ブロックごとのグループ内OJT実施 ○専科教員の各学年との連携強化のため、担当学年による副担任的な立場での各学年との協働を通しての課題解決推進。 ○持ち時間数の平坦化のための工夫。 ○分掌組織の再編成のための役割、メンバー等の明文化と整理。 ○ICT担当委員会の分担の明確化。 ○毎年の全学年学級編成の多面的な確認

